

1 題材名 「書いてみよう 話してみよう」・自情

2 題材について

本学級は、児童7名が在籍している。自己中心的な考えで行動してしまうのではなく、その時の状況に応じて適切な言動ができるように支援していく必要がある。

本題材では、話を聞いて、落ち着いて学習に参加すること、一定時間、自分の課題に取り組むこと、友達と仲良く活動することをねらいとしている。ゲームを行うことを通して、友達と仲良く遊ぶことの楽しさを味わわせるとともに、小集団での関わりの中で、自分がどのような行動をとったらよいのかを学ばせたい。そして、これからの学校生活におけるいろいろなグループ活動を楽しみにし、意欲的に参加しようという態度につなげていきたい。

指導にあたっては、学習の後半にゲームを取り入れたり、児童が負担を感じない程度に学習量を減らしたりすることで、児童にとって「できた」「分かる」「楽しい」と感じられるようにしたい。どの児童も小さな変化や刺激で、学習に集中できなかったり、友達とコミュニケーションがとれずにトラブルになったりする。そこで、児童の好む教材を使って、自分にあった学習の量で授業を行い、できることを増やしていきたい。また、少人数で楽しみながら簡単なルールの遊びを重ねることで、自分の気持ちを抑制することを学び、友達と活動することの楽しさを味わえるようにしていきたい。

3 児童の実態と個別目標

	実 態	目 標
A児	・興味のある活動には意欲的に取り組むが教師の話を聞き漏らすことがある。	・話をよく聞き、ルールを守って仲良く学習することができる。 【3-(1)】
B児	・興味のある活動に一生懸命取り組むが友達と協力して活動することが難しい。	・話をよく聞き、ルールを守って落ち着いて学習することができる。 【2-(1)】
C児	・活動に一生懸命取り組むが、自己中心的な行動が見られる。	・友達の意見を聞きながら、楽しく文作りをすることができる。 【3-(1)】
D児	・新しい活動になじみにくいが、流れを理解できれば、友達と協力して取り組む。	・話をよく聞き、友達と協力して文作りを行うことができる。 【3-(1)】

4 指導計画と評価(3時間扱い)

月	時	学習内容・活動	評 価			
			A児	B児	C児	D児
9	1	・活動内容について知る。 ・みんなで遊ぶときのルールを決める。	・着席して話を聞くことができる。 ・友達と仲良く話し合うことができる。	・話をよく聞くことができる。 ・ルールを考えた発表することができる。	・話をよく聞くことができる。 ・仲良くできるルールを考えて発表することができる。	・話をよく聞くことができる。 ・ルールを考えた発表することができる。
	2	・カードを並べ替えて文を作る。 ・ゲームをする。 ・二人でカードを並べ替えて文をつくる。	・話をよく聞いて行動することができる。 ・仲良く遊ぶことができる。 ・ルールを守って行動することができる。	・ルールを守って行動することができる。 ・仲良く遊ぶことができる。 ・状況に応じて行動することができる。	・文作りのやり方を理解することができる。 ・仲良く遊ぶことができる。 ・友達と仲良く作文を発表できる。	・文作りのやり方を理解することができる。 ・仲良く遊ぶことができる。 ・友達と協力して作文を完成できる。
	3 (本時)	・ゲームをする。	・仲良く遊ぶことができる。	・仲良く遊ぶことができる。	・仲良く最後まで遊ぶことができる。	・仲良く最後まで遊ぶことができる。

5 本時の指導

(1) 個別目標

A児:ルールを守り、仲良くしようとする意識をもつことができる。

【3-(1)】

B児:状況に応じて行動しようとするができる。

【2-(1)】

C児:優しい言葉遣いで友達と関わり仲良く参加することができる。

【3-(1)】

D児:友達と協力して準備を行い、楽しく参加することができる。

【3-(1)】

(2) 準備・資料

・学習予定表 ・言葉カード ・振り返りカード ・電子黒板

(3) 展 開

学習活動・内容	支援の手だてと評価(◎評価)				
	全体	A児	B児	C児	D児
1 始めの挨拶をする。 ・姿勢や話の聞き方を確認する。	・上半身の力が抜けやすいので、力を入れるところと抜くところを助言しながら気持ちよく挨拶できるようにする。	・姿勢良く挨拶ができた褒める。 ・独り言を言い始めたときはカードを提示し、気付くことができるようにする。	・教師に注目できるよう合図してできたら褒める。	・C児の状態を聞き出し、活動に対する意欲を高める声かけをする。	・号令をかけるよう話し、挨拶ができた褒める。
2 本時の学習内容を知る。 みんなで書いて話してみよう。	・活動の手順を黒板に掲示し、本時の活動の見通しがもてるようにする。 ・めあてを声に出して読み、大切な事を意識させる。	・大きな声でめあてを読むことができた褒め、意欲を高める。【3-1】	・気になることがあつて課題から逸れてしまうときは、カードを示し、やるべき課題に気付くことができるようにする。【2-1】	・学習内容について質問し内容を把握したか確認する。 【3-1】	・独り言を言い始めたときはカードを提示して気付くことができるようにする。【3-1】
3 体ほぐしをする。 (1) 個人でのストレッチ (2) 右左体操	・体の力を抜き、落ち着いて気持ちよくストレッチができるよう心地よい声量で指示する。 ・右左体操は、電子黒板を見ながら行う。	・友達と楽しく体ほぐしができたら称賛する。	・友達と仲良く、体ほぐしができたら称賛する。	・友達と仲良く、リズムカルに体ほぐしができたら称賛する。	・友達と仲良く、楽しく、リズムカルに体ほぐしができたら称賛する。
4 「並べて文作りゲーム」をする。 (1) カードを並べてどんな文なのか考える。 (2) 二人で力を合わせて正しい文にする。 (3) 発表する。	・教師がやり方を説明し、指定されたカードを全部使って正しい文を作ることを知らせる。 ・二人で協力して行うことで、意欲的に取り組めるようにする。	・いくつか言葉を見付けることができたら称賛する。 ・めあてを意識して、はっきりと発表するよう声をかけ、できたら称賛する。 ◎話をよく聞いてルールを守って学習することができたか。 (観察)	・たくさんの言葉を出すことができた褒める。 ・自分から進んで発表できた褒める。 ◎どうなるのか予測し状況に応じて行動しようとしたか。 (観察)	・話合いでルールを守って自分の意見を発表できた褒める。 ◎優しい言葉遣いで友達と関わり仲良く参加することができたか。 (観察)	・友達の見解を取り入れることができた褒める。 ◎友達と協力して準備を行い楽しく活動することができたか。 (観察)
5 「よく聞いて書こう。」をする。 ・教師の言葉を聞いて書く。	・言葉を区切ったり記号の言葉を伝えたりすることで、正しい書き方が意識できるようにする。	・話をよく聞いて落ち着いて書くよう声をかける。	・今まで学習した漢字も使って書くよう促す。分からない漢字は教師に尋ねてよいことを伝える。	・今まで学習した漢字も使って書くよう促す。分からない漢字は教師に尋ねてよいことを伝える。	・今まで学習した漢字も使って書くよう促す。分からない漢字は教師に尋ねてよいことを伝える。
6 本時を振り返り、終わりの挨拶をする。 ・姿勢や話の仕方を確認する。 ・良かったこと、楽しかったことを話す。 ・終わりの挨拶をする。	・インタビュー形式で、児童の気持ちや考えを詳しく引き出せるようにする。 ・頑張ったことや良かったことを称賛し、友達のよさに気付くことができるようにする。	・楽しかったことを発表できた褒める。	・頑張ったことや良かったこと、できるようになったことを発表したら称賛する。	・友達の良かったところを発表できた褒める。	・友達の良かったところを発表できた褒める。